



オスロ会議以後の課題

2013. 3. 19

川崎哲

ICAN共同代表

ピースボート共同代表



HUMANITARIAN IMPACT
OF NUCLEAR WEAPONS
Oslo, Norway 4-5 March 2013



オスロ会議の成果・意義



■核兵器使用の**結末**に着目

- ＞非人道性、とりわけ救援の不可能性
- ＞地球規模の被害、核戦争に勝者なし

■非核保有国が**主導**するプロセス

- ＞P5はボイコット
- ＞**核保有国が管理する秩序(NPT)**から、**非核保有国が作る新しい規範**へ



Moldova

PEACE

政府間のプロセス



■ メキシコ会議

- ＞ 議題は深まるのか 「破滅的な人道上の結末」の**予防**へ
- ＞ 参加国は増えるのか？ 減るのか？

■ 核不拡散条約(NPT)準備委員会

- ＞ 「**非人道性**」**声明**のさらなる拡大

■ オープンエンド作業グループ(ジュネーブ)

- ＞ 核兵器禁止条約への協議の場となるか



TAKK

DIEURE
DIEUF

TAK

X BAJA

תודה

תודה

Köszönet

TEŞEKÜR

OBRIGADO

감사합니다

تודה

THANK YOU FOR

市民レベルの活動



■ 核廃絶週間

2013年7月7日～14日

■ 被爆者の証言活動

■ 新しいアクター(人道団体等)との共同

■ 赤十字の動き



日本をどうするか



- 日本の参加と発言 「核リスクを減らす」
- 日本が「非合法化」声明に署名できない理由
- 日本の姿勢を人々に知らせていくこと
- 国会議員への働きかけ
- NPDI(10カ国グループ、広島会合)とNPTプロセス